

一般国道 8 号 ^{さんじょう} 三條大橋の完成

新潟県三條市

1 . 事業の概要

^{さんじょう}三條^{さんじょう}拡幅は、一般国道 8 号の^{さんじょう}三條市内の交通混雑の解消を目的とした、^{さんじょう}新潟県三條市^{おおしま}大島から同市^{どは}土場に^{さんじょう}至る延長約 6 . 1 k m の事業です。

2 . 事業の経緯

昭和 4 9 年度に事業着手し、現在までに延長約 1 . 7 k m の暫定 4 車線供用 (4 / 6) 及び延長約 1 . 8 k m の完成 4 車線供用をしております。

また、平成 1 1 年度には^{さんじょう}三條大橋^{さんじょう}の下り線側 (期線) 工事を完成し、平成 1 2 年度より上り線 (期線) 工事を推進しております。

3 . 平成 1 5 年度事業の内容

^{さんじょう}三條大橋^{さんじょう}の上り線 (期線) を含む、^{さんじょう}三條市^{かみすごろ}上須頃^{すくえ}から直江間の延長約 1 . 1 k m について、橋梁・舗装工事を推進し、完成 4 車線供用する予定です。



平成 1 5 年度供用に向け工事の進む三條拡幅
(長岡方向から新潟方向を望む)

一般国道49号 横雲バイパスの全線開通 新潟県北蒲原郡京ヶ瀬村～中蒲原郡亀田町

1. 事業の概要

横雲バイパスは、一般国道49号の京ヶ瀬村から横越町の家屋連担部での交通混雑の解消を目的とした、新潟県北蒲原郡京ヶ瀬村下黒瀬から中蒲原郡亀田町城所に至る延長約6.2kmの道路です。

2. 事業の経緯

昭和61年度に事業着手し、昭和62年度に用地買収、平成元年度に工事着手しております。平成7年度には京ヶ瀬村下黒瀬から横越町横越間の延長約3.3kmについて暫定2車線供用しております。

3. 平成15年度事業の内容

横越町横越から亀田町城所間の延長約2.9kmについて、舗装工事を推進し、全線暫定2車線供用する予定です。



平成15年度供用に向け工事の進む横雲バイパス
(横越方向から新潟方向を望む)

一般国道470号 高岡砺波道路の全線開通 富山県高岡市～砺波市

1. 事業の概要

高岡砺波道路は、高規格幹線道路の一般国道自動車専用道路として整備を進めている「能越自動車道」(石川県輪島市～富山県砺波市・延長約100km)の一部であり、富山県高岡市五十里(高岡北IC)から砺波市鷹栖(小矢部砺波JCT)に至る延長約18.2kmの道路です。

2. 事業の経緯

昭和63年度に事業着手し、平成8年3月に福岡ICから小矢部砺波JCT間の延長約6.9kmについて完成4車線供用し、平成12年7月には高岡ICから福岡IC間の延長約6.8kmについて完成4車線供用しております。

3. 平成15年度事業の内容

高岡北ICから高岡IC間の延長約4.5kmについて、舗装工事を推進し、無料道路として暫定2車線供用する予定です。



平成15年度供用に向け工事の進む高岡砺波道路
(高岡IC方向から高岡北IC方向を望む)

一般国道 8 号 う お づ な め り か わ 魚津滑川バイパスの全線開通 富山県魚津市 う お づ ～ 滑川市 な め り か わ

1 . 事業の概要

う お づ な め り か わ 魚津滑川バイパスは、一般国道 8 号の魚津市から滑川市間の交通混雑の解消を目的とした、富山県魚津市住吉から滑川市稲泉に至る延長約 7 . 4 k m の道路です。

2 . 事業の経緯

平成元年度に事業着手し、平成 6 年度に魚津市住吉地区の延長約 0 . 5 k m について暫定 2 車線供用し、平成 1 4 年度には滑川市大掛～同市稲泉間の延長約 3 . 5 k m について暫定 2 車線供用しております。

3 . 平成 1 5 年度事業の内容

う お づ 魚津市慶野から滑川市大掛間の延長約 3 . 4 k m について、改良・橋梁・舗装工事を推進し、全線暫定 2 車線供用する予定です。



平成 1 5 年度供用に向け工事の進む新早月大橋（仮称）
（魚津方向から滑川方向を望む）

主要地方道万尾宇波線 新規着手

も お う な み
富 山 県 氷 見 市

1. 事業の概要

主要地方道万尾宇波線は、能越自動車道瀬浦IC（仮称）と一般国道160号を連絡する道路であり、インターチェンジアクセス道路（延長約1.3km）として、新規に事業着手します。

2. 平成15年度事業の内容

平成15年度より事業に新規着手し、用地買収を行います。



（主）万尾宇波線（事業区間全景）

一般国道 8 号 かなざわとうぶ 金沢東部環状道路の一部供用 石川県かなざわ金沢市

1 . 事業の概要

かなざわとうぶ 金沢東部環状道路は、かなざわ 金沢市内における交通混雑の解消を目的とした、かなざわ 石川県金沢市今町から同市すずみだい 鈴見台に至る延長約 9 . 4 k m の道路です。

2 . 事業の経緯

昭和 6 2 年度に事業着手し、昭和 6 3 年度に用地買収、平成 3 年度に工事着手しております。

また、平成 7 年 4 月に地域高規格道路「かなざわそと 金沢外環状道路」の一部として整備区間に指定、平成 1 3 年度に今町 I C からうめだ 梅田 I C 間の延長約 1 . 3 k m について完成 4 車線供用し、平成 1 4 年度末にはひがしながえまち 東長江町からすずみだい 鈴見台間の延長約 2 . 4 k m について暫定 2 車線供用しております。

3 . 平成 1 5 年度事業の内容

つきうら 月浦トンネル及びかみやち 神谷内トンネルに着手するとともに、うめだ 梅田 I C から つきうら 月浦 I C (仮称) 間の延長約 2 . 1 k m について、改良・橋梁・舗装工事を推進し、暫定 2 車線供用し、併せて北陸自動車道と連結する予定です。



平成 1 5 年度供用に向け工事の進む月浦 I C (仮称) 付近
(梅田方向から鈴見台方向を望む)

一般国道 159号 津幡バイパスの全線開通

石川県河北郡宇ノ気町～金沢市

1. 事業の概要

津幡バイパスは、一般国道159号の津幡町地内の交通混雑の解消及び金沢市と能登地域との連携強化を目的とした、石川県河北郡宇ノ気町内日角から金沢市今町に至る延長約11.6kmの道路です。

2. 事業の経緯

昭和46年度に事業着手し、現在までに延長約6.9kmの完成4車線供用及び延長約0.5kmの暫定2車線供用をしております。

また、平成7年4月に、地域高規格道路「月浦白尾IC連絡道路」の一部として、整備区間に指定され、整備を推進しております。

3. 平成15年度事業の内容

宇ノ気町内日角から津幡町舟橋間の延長約4.2kmについて、橋梁・舗装工事を推進し、全線暫定2車線供用する予定です。



平成15年度供用に向け工事の進む津幡バイパス
(白尾方向から金沢方向を望む)

主要地方道七塚宇ノ気線の一部供用 石川県河北郡七塚町～同郡宇ノ気町

1. 事業の概要

主要地方道七塚宇ノ気線は、北陸自動車道月浦IC（仮称）と能登有料道路白尾ICを結ぶ地域高規格道路「月浦白尾IC連絡道路」であり、直轄国道とともに広域幹線道路ネットワークを形成し、交通混雑の緩和や石川県長期構想「金沢能登2時間圏」を支援します。

2. 事業の経緯

平成9年度より補助事業に着手し、平成14年度は用地買収及び工事を促進しています。

3. 平成15年度事業の内容

引き続き工事を促進し、一般国道159号津幡バイパスの供用にあわせ、延長約0.9kmを供用します。



(主) 七塚宇ノ気線（事業区間の全景）

新潟みなとトンネルの早期全線供用

新潟港：新潟県新潟市

1. 事業の目的

港湾から発生する貨物運搬車両やフェリーを利用する旅客の交通円滑化と、新潟市内の交通渋滞を緩和して物流・人流の効率化を図るとともに、新潟西港～空港～東港の物流機能の連携強化を図ります。

2. 事業の経緯

昭和62年度に事業に着手し、平成14年5月19日に全体計画延長約3.3kmのうちトンネル部分を含む約2kmについて開通。残る区間の整備を進めているものです。

3. 平成15年度事業の内容

平成17年の全線供用に向け、残る右岸側の擁壁部や取付道路の整備を推進します。



みなとトンネル出入口(入船側)付近



トンネル内部

臨港道路(東西線)の整備推進

～新湊大橋(仮称)～

伏木富山港：富山県新湊市

1. 事業の概要

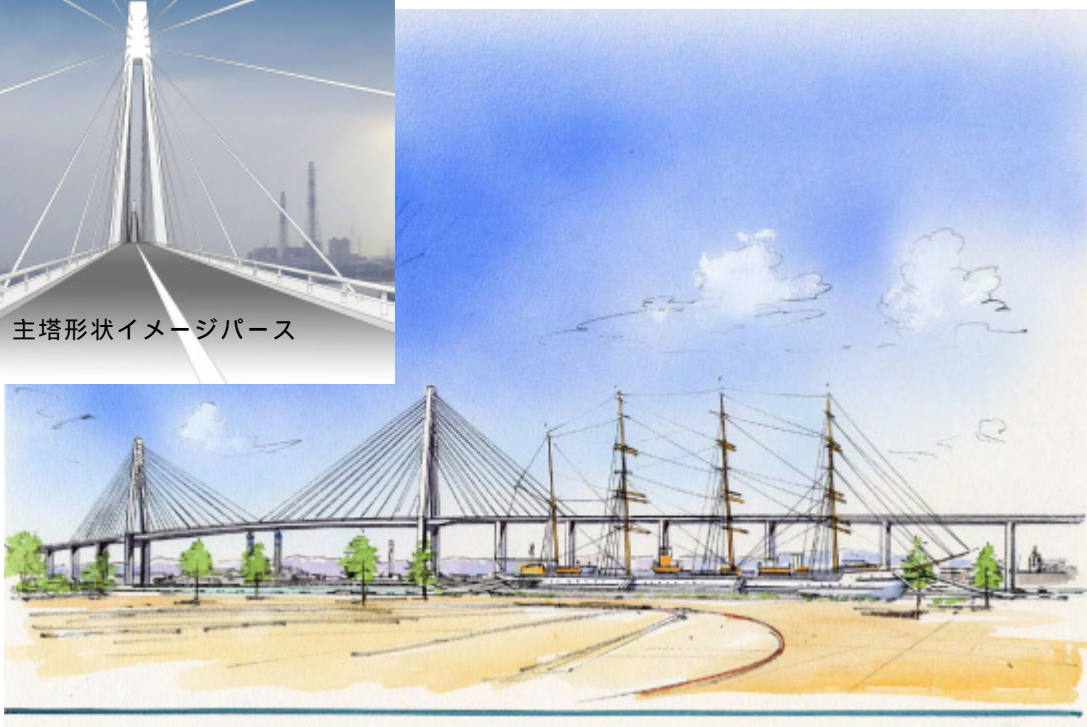
伏木富山港新湊地区において分断されている港口部を結び、港湾貨物等の臨港交通の円滑な処理を図ります。

2. 事業の経緯

平成9年度より実施設計調査費が認められ、これまで現地交通量調査、交通需要予測、地盤調査、土質調査、予備設計等を実施してきました。平成13年7月に開催された北陸地方整備局事業評価監視委員会における「事業継続」との判断と付帯条件をふまえ、国ならびに富山県において橋梁部を含む全長3.6kmについて、経済性、利便性および技術的課題についての検討と港湾計画変更の手続き(平成14年7月変更)を進め、平成14年度現地着工の運びとなりました。

3. 平成15年度事業の内容

東西主塔の下部工本体(ニューマチックケーソン)の製作・構築等を行い、整備を推進します。



伏木富山港(新湊地区)新湊大橋(仮称) イメージパース

多目的国際ターミナル[岸壁(-14m)]の完成

伏木富山港：富山県高岡市

1．事業の概要

伏木富山港伏木地区に、効率的な荷役を可能とし港湾物流コストを削減するとともに船舶の大型化に対応するため、大水深の岸壁(水深14m)を備えた多目的国際ターミナルの整備を図ります。

2．事業の経緯

伏木地区は小矢部川の下流に位置しているため、上流からの土砂の流下により航路水深が浅くなり、その航路の水深を確保するため埋没浚渫を実施してきましたが、コスト縮減等の観点から、航路の埋没浚渫からの脱却と船舶の大型化への対応および危険物取扱施設の市街地からの分離を図るため平成元年から外港建設に着手してきました。

平成12年度より、伏木地区背後に立地している企業の陸送距離短縮による物流コストの縮減および船舶の大型化に対応するため、多目的国際ターミナルとして水深14m岸壁の整備を行ってきており、平成15年度に完成を迎えます。

今後は岸壁背後のふ頭用地等の用地造成を早期に完成させ、平成17年の供用開始を目指します。

3．平成15年度事業の内容

岸壁上部の舗装工および液状化対策工を施し、平成15年度に完成させます。



伏木富山港（伏木地区）外港現況写真

臨港道路(外港1号)の整備促進

～新伏木港大橋(仮称)～
伏木富山港：富山県高岡市

1. 事業の概要

外港展開を進める伏木富山港(伏木地区)に於いて、港湾貨物や人の円滑な流動のため、臨港道路(L=4,000m、暫定2車線)の整備を行います。

2. 事業の経緯

平成4年度に事業着手し、伏木外港の整備に合わせ 期工事として橋梁を含む延長1,500m(暫定2車線)の早期供用を目指し、整備を進めているものです。

3. 平成15年度事業の内容

平成15年度は引き続き用地補償、また橋梁部の下部工(橋脚部)の現地施工を開始します。



伏木外港
イメージパース



新伏木港大橋(仮称) 完成イメージパース

航路泊地(-10m)の拡幅整備推進

金沢港：石川県金沢市

1. 事業の概要

近年、金沢港においては船舶の大型化が急速に進んでいる一方、現状の航路幅が狭いため、特に冬季において大型船の操船が難しい状況となっています。そのため、航路を拡幅整備し、大型船舶の航行安全の確保を図ります。

2. 事業の経緯

平成11年度より大浜航路(-10m)の幅員をそれまでの200mから280mへ拡幅するための浚渫工事に着手し、平成16年度の完成を目指すものです。

3. 平成15年度事業の内容

航路拡幅部を浚渫し、同じく金沢港金石地区で整備を進めている廃棄物埋立護岸内に投入します。



旅客船ターミナルの整備促進

七尾港：石川県七尾市

1．事業の概要

観光やレクリエーションの拠点ならびに大規模地震発生時における物流機能の確保や住民の避難、緊急物資輸送に対処するために既存施設の耐震化を行い旅客船ターミナル(水深 7.5m)として整備を行います。

2．事業の経緯

平成7年度に事業に着手し、整備しているものです。

3．平成15年度事業の内容

引き続き本体工などの整備促進を図り、早期の部分供用を目指します。



七尾港旅客船ターミナルイメージパース

多目的国際ターミナルの整備推進

～ 岸壁(-14m)(2号)～

敦賀港：福井県敦賀市

1．事業の概要

敦賀港への入港船舶の大型化と増大する港湾貨物に対処するため、鞠山南地区に大型岸壁を整備して港湾物流コストの削減を図ります。

2．事業の経緯

平成8年度より地盤改良工（サンドコンパクション工法）に着手、平成19年度の完成を目指すものです。

3．平成15年度事業の内容

基礎工及び堤体工（ケーソン製作）等を行い引き続き事業を推進します。



敦賀港(鞠山南地区)多目的国際ターミナルイメージパース

臨港道路 3 号線(トンネル)の完成

敦賀港：福井県敦賀市

1 . 事業の概要

「新港地区」と「本港地区」とを結ぶ臨港道路（L=810m、2車線）を整備し、円滑な港内物流と港湾利用者の利便性の向上を図ります。

2 . 事業の経緯

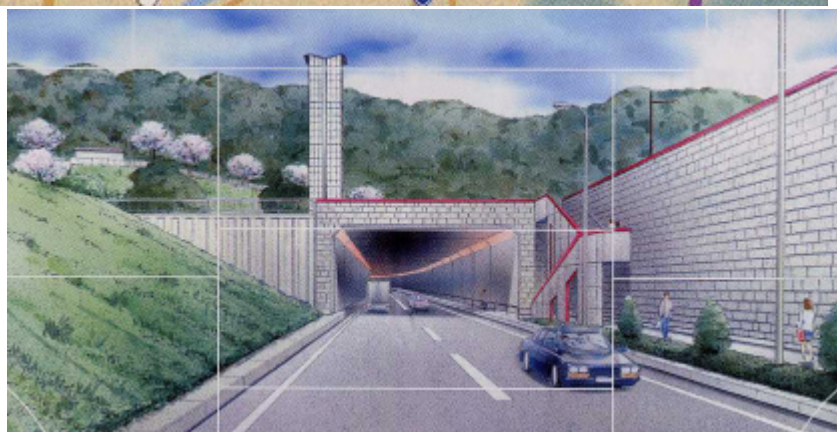
平成元年度に事業に着手し、平成15年3月26日に暫定2車線で供用を開始しました。

3 . 平成15年度事業の内容

平成15年度は、供用を開始した暫定2車線の残事業として、側道、歩道、融雪設備などの残事業整備を進め、暫定2車線の完成を目指します。



トンネルの入口（新港地区側から）のイメージパース



神通川に架かる富山大橋の架け替え整備を推進

都市計画道路呉羽町袋線の整備推進（富山県富山市）

1．事業の目的

都市計画道路呉羽町袋線（主要地方道富山高岡線）は、富山市と高岡市を結び、日交通量が約3万台の主要幹線道路です。

神通川に架かる富山大橋は、県西部から富山市の中心市街地への玄関口に位置する橋長467m、車道2車線と路面電車（単線）を有する富山県を代表する橋梁です。

現在の橋は、昭和11年の供用から60年以上経過している、いわゆる老朽橋です。近年の車両の大型化への対応や慢性的な交通渋滞の解消及び通行の安全性を確保するため、現橋の北側に4車線の車道と、幅の広い歩道、路面電車（複線）を有する新しい橋を架けるものです。

2．事業の経緯

平成14年度に事業認可を受け、用地買収に向けた調査を実施しています。

3．平成15年度の実施内容

用地買収及び補償ならびに調査設計を推進します。



現在の富山大橋

犀川に架かる御影大橋の架け替えに着手

都市計画道路鳴和三日市線の整備推進（石川県金沢市）

1．事業の目的

都市計画道路鳴和三日市線^{なるわみっかいち}は、金沢の南部地域と都心及び金沢駅を経て北部地域を結ぶ重要な幹線道路です。

しかし、昭和26年犀川^{さいがわ}に架けられた御影大橋^{みかげおおはし}は、前後の4車線に対して3車線しか設けられていないことから、朝夕には激しい交通渋滞が発生しています。このため、4車線を確保するとともに、安全で、犀川との親水性も考慮した歩道の整備を目指すものです。

2．事業の経緯

平成8年度より、県の単独事業により橋詰の元車交差点の整備を進め、平成14年7月に完成したことから、新たに国の補助事業により御影大橋の架け替えに着手するものです。

なお、御影大橋を金沢の西の玄関口のシンボルとして位置づけ、橋梁等の専門家や地元有識者により構成される「御影大橋構造・検討委員会」、「御影大橋デザイン検討委員会」を組織し、橋梁形式や橋梁デザインを決定しました。

3．平成15年度の実施内容

早期の完成供用に向け、御影大橋の下部工事を推進します。



御影大橋完成予想パース